



◎ 令和5年度地域活性化活動助成募集（一般財団法人 北海道開発協会）

◎ 新型コロナ経済対策掲示板『北海道つながるモール～SOS掲示板～』掲載企業募集のご案内

## < 編集後記 >

### 【わが村運動情報】

◎ JR北海道車内誌「The JR Hokkaido」11月号の掲載情報

JR北海道車内誌には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。11月号では第10回コンクールで優秀賞を受賞した「そらち南さつまいもクラブ」について紹介されています。

JRにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

「そらち南さつまいもクラブ」については、わが村HPでもご紹介しております↓

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou\\_sin/slo5pa000000g408-att/slo5pa000000g43b.pdf](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa000000g408-att/slo5pa000000g43b.pdf)

### 【わが村コラム】

今回紹介するのは、前田農産食品株式会社（第10回コンクール応募団体）の十勝ポップコーンです。

国内初となる電子レンジで作れるポップコーンで、2017年北海道加工食品コンクールにて最優秀賞の「北海道知事賞」を受賞しました。

原料は、前田農産が生産しているポップコーン用爆裂種で、4月の下旬に種をまき、10月下旬ご



ろに収穫しています。収穫時期になるとゴールデンイエローに色づいたとうもろこしをコンバインで収穫します。

粒が大きくサクサクとした軽い歯ごたえが特長です。また、ポップコーン本来の香ばしい味を引き立てるため、沖縄の海水から採れた塩を使用しています。



500W の電子レンジで約 2 分 30 秒温めるだけで、美味しいポップコーンが簡単にできあがります。フライパンなどの洗い物の手間もかかりません。

お子様のおやつはもちろん、おつまみにもおすすめです。

十勝管内の道の駅や各 Web ショップで購入できますので、ぜひ一度ご賞味ください。

---

## 【わが村団体活動情報】

---

### ◎北方領土を間近に望む 本土最東端パノラマ・クルーズ！☆（根室市）

#### <わが村団体名：歯舞地区マリナビジョン協議会>

歯舞地区マリナビジョン協議会では、漁業振興と都市漁村交流などの取組を行っており、その一環として冬季のクルージングを実施しています。

納沙布岬からわずか3.7km先は北方領土の貝殻島灯台。クルーズ船は歯舞漁港を出発し、その半分の1.85kmまでしか近づくことはできませんが、周辺海域は日本でも有数の海鳥飛来地であり、更に機会が合えばクジラ、ラッコ、アザラシ、イルカなどにも出会える可能性があります。陸地からでは味わえない新たな風景を求めて乗船してみたいかがでしょうか。



※乗船者全員にオリジナルトートバッグをプレゼント！

【開催期間】令和4年11月1日～令和5年4月30日

(前日までの予約制)

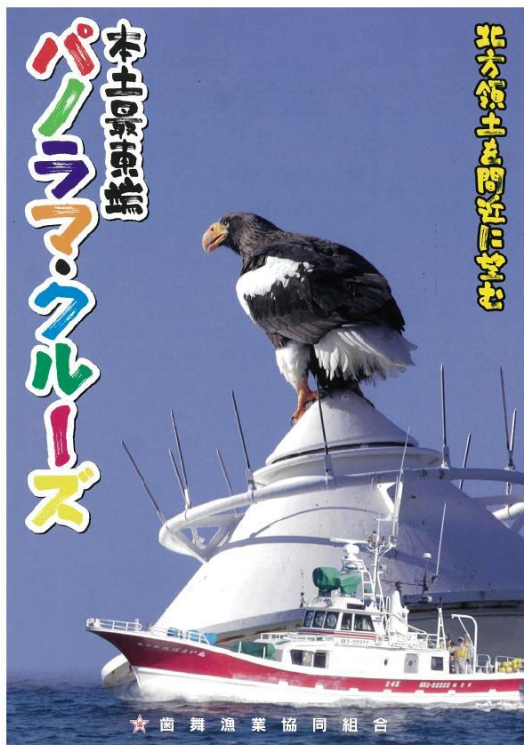
【出航時間】①9:00、②11:30、③14:00

(所要時間約2時間)

【乗船予約・お問合せ】歯舞漁業協同組合

指導部・遊覧船係(根室市歯舞4-132-2)

TEL:0153-28-2124



定員 12名 船内休憩室・トイレ完備 ガイドも同乗いたします。

**ルート**  
歯舞漁港→納沙布岬・貝殻島灯台中間点→歯舞漁港 所要時間約2時間

**運航** 期間：毎年11月1日～翌年4月30日  
●前日までの予約制 (3名に満たない場合は運航せず)  
①出港09:00 入港11:00(予定)  
②出港11:30 入港13:30(予定)  
③出港14:00 入港16:00(予定)

※開航を期し、運航時期はご乗船にお応じます(船予約)。天候等の状況により、出港が遅延しても、船運の安全又は船客の安全を最優先とさせていただきます。ご予約を受けなくても、航海指示等の他の手段により、運航を中止し、又は日程を変更する場合がございますので、予めご了承ください。

この海域で見られる海洋哺乳動物リスト  
ミンクジラ、ゼニガタアザラシ、ウミクジラ、ニホリガモ、オオセグロカモメ、カマイルカ、オオワシ、ヒメウ、クロガモ、シロガモ、インカカ、オジロウシ、シノリガモ、オオシロガモ、シシガモ

**料金**  
大人 5,000円 小・中学生 3,000円 (保護者同乗) ※10人以上の団体乗船については10%割引

**チケットの予約・販売・乗船受付・待合場所**  
北海道根室市歯舞4-132-2  
歯舞漁業協同組合  
指導部・遊覧船係  
TEL 0153-28-2124

**アクセス**  
根室駅最寄りバスターミナルより、環状交通「納沙布岬」のバスで約30分、バス停より徒歩約5分。

**乗船について**  
安全確保のため未成年児童・幼児の方は乗船出来ませんが、身体に障害のある方は乗船できる場合がありますので事前にご相談ください。可燃物、ハサミ、ナイフ、カッター等の刃物、ライター類等の危険物、貴重品の貴重品やペットの持ち込み及び乗船はお断り致します。気分が悪くなった場合は船内の休憩室(5名様用)にてお休みください。

◎ドキュメンタリー映画を上映します！(七飯町)

<わが村団体名：七飯の食を考える会>

小さな頃に何を食べて育ったか…。子どもの頃の「食」の体験は、その後の人生に大きな影響を与えます。

七飯町の「食材」や「食文化」を「食のふるさと」として次の世代につないでいくために、七飯町在住の主婦が中心となって、この会が発足しました。

今回、ドキュメンタリー映画『食の安全を守る人々』を自主上映します。この映画は「種子法」「種苗法」「農薬規制の緩和」「ゲノム編集食品の流通」「食のグローバル化」等がキーワードになっています。

未来の子どもたちのために、持続可能な未来図とは…。  
私たちの「食」について考えてみませんか。



【上映日時】 11月11日（金）

①午前の部：10時開演、②夜の部：18時30分開演（上映時間102分）

【上映会場】 七飯町文化センター 201大会議室（七飯町本町6丁目1番2号）

【募集定員】 各30名（※料金はフェースブック等でご確認ください）

【お問合せ・お申し込み先】 七飯の食を考える会

参加される方全員の、お名前・年齢、連絡先電話番号、居住地、①午前の部または②夜の部のいずれかを明記のうえ、事前にお申し込みください。

SMS : 090-9754-3612

e-mail : [nanashoku2015@gmail.com](mailto:nanashoku2015@gmail.com)

【Facebook】 [ななえの食を考える会 | Facebook](#)

◎田んぼの教室（稲刈り）を開催！！（当麻町）

<わが村団体名：当麻土地改良区>

当麻町では地域の産業である農業について、子ども達を通じて広く地域の人々に理解してもらうことを目的に田んぼを総合学習の場とした「田んぼの学校」等を関係機関と連携して実施しています。

今年も5月に苗を植え、夏には生育観察や生き物調査等で田んぼを見守り続けてきましたが、9月30日にいよいよ稲刈り作業を迎えました。例年であれば町内の小中学生約300名



と、サポートスタッフ約200名の総勢500名を超える大がかりなイベントですが、コロナ禍の影響も踏まえて、小学5～6年生を中心とした110名が交代で作業を行う等、十分な感染防止対策を取りながらの実施となりました。子ども達は稲を鎌で一束ずつ刈り取り、足踏み式脱穀機を用いた作業もサポートスタッフの指導を受けながら丁寧に行っていました。

この田んぼからは約7.4tの収量を予定しており、町内の学校給食は年間を通じてこのお米で賄われます。自分たちで田植えを行い、生育を見守り、収穫したお米を給食として食べることで、農業をより身近に感じてもらえたのではと思っています。



---

## 【お知らせ】

---

◎ 「受け継ぎたい北海道の食」動画コンテスト募集中！（北海道農政事務所）

北海道の食文化や地位に根ざした伝統料理・郷土食等に対する関心度の向上を図り、保護・継承につなげていくことを目的として、今後も受け継いでいきたい北海道の食のおいしさと技術、食材の魅力、そしてその熱意ある背景を伝える動画を広く募集します。

動画を視聴した人が、北海道の食文化に関する関心を高め、取り上げられた料理等を食べてみたい、作ってみたい、または作り方を他の人にも教えたいと感じるような内容の動画を集めています。

【募集期間】 令和4年7月1日（金）～令和4年11月24日（木）

【お問合せ】 農林水産省北海道農政事務所生産経営産業部事業支援課「動画コンテスト係」

TEL：011-330-8810

【H P】 [https://www.maff.go.jp/hokkaido/jigyoushien/syokubunka/wasyoku.syokubunka\\_top.html#kontst](https://www.maff.go.jp/hokkaido/jigyoushien/syokubunka/wasyoku.syokubunka_top.html#kontst)

【北海道農政事務所 動画コンテストHP】 <https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/syokuryo/keikaku/220701.html>

---

## 【活動支援メニュー】

---

### ○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道では「緑豊かな農山漁村において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動」であるグリーンツーリズムを推進していますが、地域資源を生かした観光コンテンツや情報発信の不足といった課題が浮き彫りとなってきたことから、平成29年より、農林漁業者と観光業をはじめとする多様な主体が連携し、地域ぐるみで所得向上や交流促進により地域の活性化を目指す新たなツーリズムとして「農村ツーリズム」を推進しています。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

## ○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」よりおすすめ情報をご紹介します。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

## ・中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金【更新】

新型コロナウイルス感染症の影響、原油価格や物価高騰等により変化している消費行動や企業活動に対応するため、変革にチャレンジする道内中小企業者等が行う、新分野展開や新商品開発、各種販売促進などの新たな取組や、付加価値の高い商品への転換や原材料コスト抑制に繋がる取組等を支援します。

【公募スケジュール】 10月17日（月）～11月11日（金）

（11月下旬に審査結果を通知予定）

【お問合せ】 北海道経済部地域経済局中小企業課

中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金事務局

○通常枠 TEL 011-804-2385

○原油価格・物価高騰等影響枠 TEL 011-797-0026

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/csk/shinjigyotenkai-hojyokin.html>

## ・新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援策パンフレット

経済産業省では、新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の資金繰り、設備投資・販路開拓、経営環境の整備等を支援する施策をパンフレットにまとめました。

※パンフレットの情報は随時更新しています。



【URL】 <https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html#00>

【お問合せ】 経済産業省北海道経済産業局 総務企画部 総務課

TEL 011-709-2311 (内線2505)

#### ・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について【更新】

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てて頂くことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】 (テスト販売期間：第4四半期(1月～3月))

令和4年10月1日(土)～令和4年11月20日(日)

【お問合せ】 北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【HP】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

#### ○令和5年度地域活性化活動助成募集(一般財団法人 北海道開発協会)

北海道開発協会では、「地方版総合戦略」と新しい北海道総合開発計画(第8期)の推進に寄与する地域自らの発想による地域づくりを支援するため、非営利の市民団体が実施する地域づくりの企画、推進または実施の活動に対して助成を行っており、令和5年度の地域活性化活動助成にかかる活動の募集を開始しました。

助成の概要は以下のとおりです(詳細はHPまたはお問合せによりご確認ください)。

【対象とする活動】 非営利の市民団体が道内で実施する地域づくりの企画、推進または実施の活動で、以下の項目全てに合致しているもの

- \* 地域の発展に貢献するもの
- \* 地域の特性を生かすもの
- \* 他の地域、民間活動のモデルとなるもの
- \* 活動の継続性が見込まれるもの

【申請受付期間】 令和4年11月～令和5年4月20日まで

【助成額】 1団体当たり1件、70万円を限度として選考により助成

【お問合せ】 一般財団法人 北海道開発協会 開発調査総合研究所（担当者：中川、曾田）

T E L : 011-709-5213 , F A X : 011-709-5225 , Email : [kenkyujo@hkk.or.jp](mailto:kenkyujo@hkk.or.jp)

【H P】 <https://www.hkk.or.jp/kenkyusho/chiiki.html>

#### ○新型コロナ経済対策掲示板『北海道つながるモール～SOS掲示板～』掲載企業募集のご案内

道内食品関連企業が抱える過剰在庫の解消・販売促進の支援を目的に、在庫処分にお困りな企業・店舗の情報や商品を公開し、購入希望の一般消費者や業者へ広く周知を行うための"特設掲示板"を開設いたしました。

【飲食料品の掲載に関するお問合せ】 札幌商工会議所 国際・観光部 食産業・貿易課

電話：011-231-1332 FAX：011-222-5215

【物品等の掲載に関するお問合せ】 札幌商工会議所 産業部 生活・サービス産業課

電話：011-231-1374 FAX：011-231-1078

【H P】 <https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/02/details/sos.html>

---

< 編集後記 >

---

近頃、良い歳になってきたこともあり、古典芸能に興味が出てきました。

興味といっても、生で本物を感じてみたいというミーハーな気持ちです。

手始めに庶民の娯楽といわれる落語に目を付け、古典が得意と言われている某落語家さんの独演会を聞きに行きました。

落語は、小さい頃に"笑点"で10分程度のものを見た事しかなかったため、2時間の長丁場に耐えられるのか不安でしたが、実際に聞いて見ると、1本の映画やドラマを見ているような満足感でした。

1時間程度もあるお話を一人だけで全て表現し、演じきるのですが、お話に引き込まれてあっという間でした。演技力、話術がとにかくすごい一言です。

落語家さんが話の前段で、古典落語は話によってパワハラ、モラハラ、DVのオンパレードなので今後内容を変更していかなきやとのこと。

確かな技術を備えて、昔ながらの物を伝承しながらも、時代に合わせて変化していくから長く続いていくのだなと改めて感じました。

\*\*\*\*\*

**発行：北海道開発局農業水産部農業振興課**

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階  
↓わが村HPはこちらからご覧ください。  
[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou\\_sin/ud49g7000000emhm.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html)

↓Facebookでも情報配信しています。  
<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。  
配信希望・ご意見・ご感想はこちら [hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp](mailto:hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp)

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、Microsoft Edge等を使用して接続してください。

\*\*\*\*\*